

# 平成30年6月市議会定例会より

## 工藤市長の一般行政報告

6月12日から11日間の会期で開催された市議会定例会では、初日の一般行政報告をはじめ、6月補正予算の審議などが行われました。  
※市ホームページにも掲載しています。



の成果であると捉えています。

次にFDAチャーター便の就航についてですが、昨年は、6月から9月までの4か月間に、全国24空港から159便が就航し、1万2000人もの観光客の送客にご貢献いただきました。

6年目となる本年は、5月25日の関西空港からの初便を皮切りに、全国28空港から209便が9月上旬まで就航する予定であり、最大、1万7000人を超える送客数が計画されているところと見られます。

そのため、5月8、9日には、本年、就航予定であります福島・茨城両空港の両県知事のほか、経済界の方々に対し、本市はもろろん、利尻富士町も含めて、観光関係団体ともども、地域のPRを行なってきました。

今後も、積極的に本市の魅力を発信し、更なる誘客に取り組んでいきます。

### 稚内市映画北の桜守資料展 施設について

本施設につきましては、女優吉永小百合さんに「北の桜守パーク」と命名していただきましたが、これは、映画「北の桜守」の冒頭シーンで登場する「江蓮家」のロケセットを、映画資料の展示場所として活用した施設です。

この映画は、樺太からの引揚者を描いた物語であり、70年前、市となった本市と樺太の歴史を振り返ると、今年この施設がオープンすることに大きな意義を感じています。

4月29日に行なわれたオープニングセレモニーでは、映画のタイトルにちなみ、吉永小百合さんと共に桜の植樹を行ないました。数年後にはきれいな桜が咲き誇り、「北の桜守パーク」という名にふさわしい、観光名所になることを期待しています。

また、施設には、映画で使用した衣装や小道具、ロケ地マップが展示されているほか、スマートフォンなどのアプリを使って吉永小百合さんと記念撮影ができるコーナーもあります。

今後は、映画のロケ地であったことを最大限に活かすため、「北の桜守パーク」をはじめ、礼文の「北のカナリアパーク」との連携を図りながら積極的にPRを行ない、宗谷地域の周遊観光資源としての活用を図っていきたくと考えています。

開館後、2週間約2000人近い方に訪れていただいております。改めて、本市の歴史に占める樺太の影響の大きさを感じており、今後も、観光客を含め、多くの皆さんにご利用いただきたいと考えています。

開館後、2週間約2000人近い方に訪れていただいております。改めて、本市の歴史に占める樺太の影響の大きさを感じており、今後も、観光客を含め、多くの皆さんにご利用いただきたいと考えています。



吉永さんや子どもたちと一緒に桜を植樹

### 稚内市樺太記念館の開館について

一般社団法人全国樺太連盟が近年中に解散することを受け、貴重な資料など2000点、そして多額の寄附を昨年度、引き受けたところと見られます。

これらをはじめ、本市がこれまで所蔵してきた樺太

に関する資料を活用し、樺太の歴史を風化させないこと、また、これら資料を次の世代に保存、継承しようという本市と全国樺太連盟の想いが実を結び、5月25日に「稚内市樺太記念館」の開館に至ったところです。

この記念館では、年間を通じた常設展示はもちろんのこと、市内各施設や関係者と連携し、様々な企画展や講座の開催などにも取り組んでいきます。

開館後、2週間約2000人近い方に訪れていただいております。改めて、本市の歴史に占める樺太の影響の大きさを感じており、今後も、観光客を含め、多くの皆さんにご利用いただきたいと考えています。



貴重な資料が並ぶ樺太記念館

### 生涯学習総合支援センターの開館について

本市では、これまで使用していた社会教育センターの老朽化による維持管理の問題や教育関係機関が市内に点在していたことから、これまで取り組んできた生涯学習や教育相談体制を、更に充実させるため、4月1日、旧稚内商工高等学校実習棟を改修し、「いつでも・だれでも・気軽に」を基本理念とした、生涯学習総合支援センターを開館しました。

本施設は、趣味やサークル、仲間うちでの活動に幅広く対応できるよう、調理室や音楽室、軽体育室などを備えているほか、無料で使えるフリースペースを設けており、年齢を問わず、多くの皆さんに利用していただける施設となっております。

また、生涯学習推進アドバイザーをはじめ、教員経験が豊富な職員が多く常駐していることを活かし、気軽に体験できる講座の開設や教育に関する相談など、施設の特徴を活かした学びの場を提供していきます。今後は、より一層、市民の皆さんの生涯にわたる学

### 観光入込客数の概要とFDAチャーター便の就航について

本市の平成29年度観光入込客数は、総数52万8000人で、前年度と比較すると、1万3200人の増加となり、3年連続して50万人を超える結果となりました。

また、本市で行なった「平成29年度宿泊客実態調査」の結果では、宿泊延数37万7100人で、前年度比、7600人の増加とな

りました。

そのうち、外国人観光客の宿泊延数は1万9729人で、前年度比、5472人と大幅に増加しており、その外国人観光客の75%を、台湾や香港など、アジア諸国からの観光客が占めました。

主な増加の要因は、個人や家族などの少人数観光の増加やインターネットなどを活用した情報発信の強化、更には、アジア諸国の旅行会社などに行った誘致活動